

●浸水への心得

最新の気象情報にご注意ください。

●雨水ますや側溝の点検・清掃等にご協力をお願いします。

雨水ますや側溝の点検・清掃・新築・改築時の敷地のかさ上げ、お年寄りや子どもなどの避難時の助け合いなど、皆さんのご協力をお願いします。



雨水ますや側溝に泥や落ち葉、ごみが詰まると浸水の原因となります。日ごろから点検・清掃にご協力をお願いします。



新築・改築の場合、宅内への浸水を防ぐために、敷地のかさ上げや地下施設の入口を高くすることをご検討ください。



周囲の浸水状況に応じて、自宅2階や避難所又は安全な場所にある親戚・知人宅へ早めに避難しましょう。近所のお年寄りや子ども、病気の人などの避難には、皆さんで助け合いましょう。



●浸水時には、ご注意を。

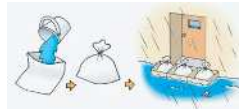
大雨により、マンホールのふたが外れることがありますので、前方及び下方の安全を確認しながら通行しましょう。

●浸水を止める用具を準備しておきましょう。

浸水が浅い場合は、浸水を止める用具(止水板や土のうなど)を置くことが有効です。浸水に備えて準備しておきましょう。



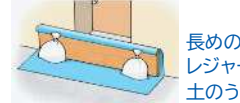
プランターとレジャーシート
の組合せ



水を入れたビニール袋とダンボール箱
の組合せ



ポリタンクとレジャーシート
の組合せ



長めの板、レジャーシートと土のうの組合せ

●大雨時の地下室、地下街・地下通路は、地上の浸水により水が一気に流れ込む危険があるため、ご注意を。

●止水板設置補助金を交付しています

本市では、近年多発する集中豪雨等の大雨に対して、市民の皆様が行う自助を促進するため、止水板設置に要する費用の一部を補助する制度を設けています。

詳しくは以下のホームページをご覧ください。表紙に記載してある担当課までお問い合わせください。



広島市ホームページ ▶ くらし・手続き ▶ 水道・下水道 ▶ 下水道 ▶ 下水道事業の主な取組 ▶ 浸水対策の推進 ▶ 止水板設置補助金の交付

<https://www.city.hiroshima.lg.jp/living/suido-gesuido/1005966/1026319/1026321/1003103.html>

●情報の入手先

関連情報はテレビやラジオのほか下記などからも入手できます。

●気象、防災に関する情報

・広島県防災Web
(<https://www.bousai.pref.hiroshima.lg.jp/>)



・広島地方気象台
(<https://www.jma-net.go.jp/hiroshima/>)



●広島市の防災及び避難に関する情報

・広島市防災情報サイト (<https://www.city.hiroshima.lg.jp/saigainfo/>)



広島市防災ポータル

災害に備える ▶ 情報収集・情報伝達 ▶ 防災情報メール

避難場所・避難所 ▶ 避難場所

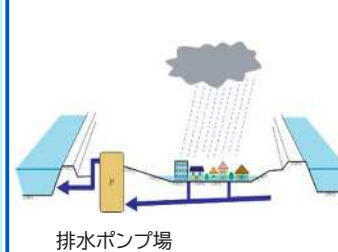
広島市の取組 ▶ 要配慮者利用施設の対応 ▶ 災害時要配慮者利用施設における避難確保計画の作成等

牛田新町・早稲田・牛田小学校区

広島市 浸水(内水)ハザードマップ

- 広島市では、大雨が降った場合に浸水の発生が想定される区域や深さ及び避難場所を明示した【浸水(内水)ハザードマップ】を作成しています。
- 皆様が生きている場所などが、どの程度浸水するおそれがあるのかを把握し、日ごろから浸水に備えていただくことを目的としています。
- 気象、防災に関する情報の入手先や各問合せ先も併せて載せています。

●浸水(内水)ハザードマップで想定する浸水とは



- 下水道の雨水排水能力を超えた大雨や放流先である海や河川の水位上昇によって住宅地などの雨水を排出できないことにより発生する浸水です。
- 堤防の内側に降った雨水などを「内水」と呼ぶのに対し、堤防の外側にある河川などに流れる水を「外水」と呼びます。
- 本地区の浸水(内水)ハザードマップでは、太田川、旧太田川(本川)、京橋川及び二又川などからの外水氾濫による浸水は考慮していません。
- 本地区の浸水(内水)ハザードマップでは、民有地内の排水設備を考慮していません。このため、民有地内については実際の浸水深と異なる可能性があります。

各問合せ先

●浸水(内水)ハザードマップ・止水板設置補助金について

下水道局施設部計画調整課

TEL 082-504-2413 FAX 082-504-2429

E-mail : g-keikaku@city.hiroshima.lg.jp

●下水道工事について

下水道局施設部管路課

TEL 082-504-2421 FAX 082-504-2617

●土のうの貸出について

東消防署警防課

TEL 082-263-7262

※土のうの貸出対象者は、ご自分で、搬送・返納できる方とさせていただきます。

●公道内の下水管の詰まり、マンホール蓋の外れなど下水道の不具合を発見したとき

東区役所建設部維持管理課

TEL 082-568-7747 FAX 082-262-6986

広島市ホームページにおいても、浸水(内水)ハザードマップを公表しています。広島市ホームページ ▶ 防災情報サイト ▶ 災害に備える ▶ ハザードマップ ▶ 浸水(内水)ハザードマップ (<https://www.city.hiroshima.lg.jp/living/suido-gesuido/1005966/1026319/1026321/1003118.html>)



詳細な浸水箇所はこちら



その他のハザードマップはこちら

ページ番号でさがす

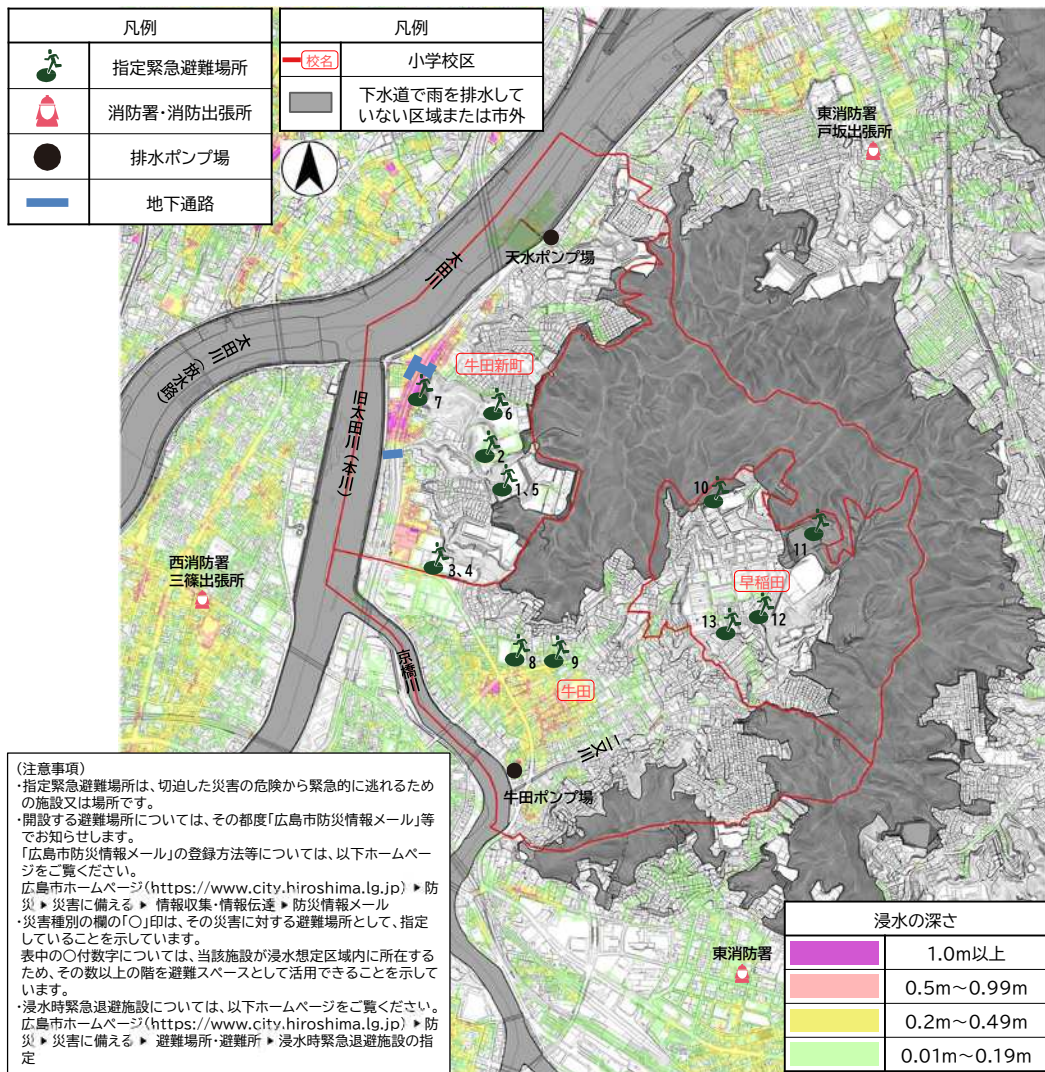
1003118

令和8年3月作成
(令和8年6月改訂版)

広島市下水道局

●想定最大規模降雨時(1時間雨量130ミリ)の浸水想定区域図

この区域図は、広島市下水道局で管理している下水道施設に、想定最大規模の雨がこの区域全体に一律に降った場合の浸水を想定しています。(令和5年(2023年)3月末時点)
 想定最大規模降雨とは、日本を降雨特性の似ている15の地域に分け、それぞれの地域において観測された最大の降雨により決定された想定しうる最大規模の降雨です。広島市が属する瀬戸内地域の想定最大規模降雨は、国土交通省のマニュアルにより**1時間雨量130ミリ**と定められています。



(注意事項)
 ・指定緊急避難場所は、切迫した災害の危険から緊急的に逃げるための施設又は場所です。
 ・開設する避難場所については、その都度「広島市防災情報メール」等でお知らせします。
 「広島市防災情報メール」の登録方法等については、以下ホームページをご覧ください。
 広島市ホームページ(https://www.city.hiroshima.lg.jp) ▶ 防災 ▶ 災害に備える ▶ 情報収集・情報伝達 ▶ 防災情報メール
 ・災害種別の欄の「○」印は、その災害に対する避難場所として、指定していることを示しています。
 表中の○付数字については、当該施設が浸水想定区域内に所在するため、その数以上の階を避難スペースとして活用できることを示しています。
 ・浸水時緊急退避施設については、以下ホームページをご覧ください。
 広島市ホームページ(https://www.city.hiroshima.lg.jp) ▶ 防災 ▶ 災害に備える ▶ 避難場所・避難所 ▶ 浸水時緊急退避施設の指定

指定緊急避難場所の一覧

番号	名称	所在地	階数	災害種別 内水
1	牛田新町小学校	牛田新町一丁目15-1	4	○
2	牛田中学校	牛田新町一丁目14-1	4	○
3	牛田公民館	牛田新町一丁目8-3	2	○
4	東区スポーツセンター (マエダハウジング東区スポーツセンター)	牛田新町一丁目8-3	2	○
5	牛田新町児童館	牛田新町一丁目15-1	2	○
6	市立広島商業高等学校	牛田新町一丁目1-1	4	○
7	牛田新町集会所	牛田新町一丁目3-31	2	②

指定緊急避難場所の一覧

番号	名称	所在地	階数	災害種別 内水
8	牛田小学校	牛田旭一丁目14-45	5	○
9	牛田集会所	牛田旭二丁目6-15	2	○
10	早稲田小学校	牛田早稲田四丁目9-1	6	○
11	早稲田中学校	牛田早稲田四丁目15-1	3	○
12	早稲田公民館	牛田東四丁目19-1	2	○
13	早稲田集会所	牛田東二丁目12-23	2	○

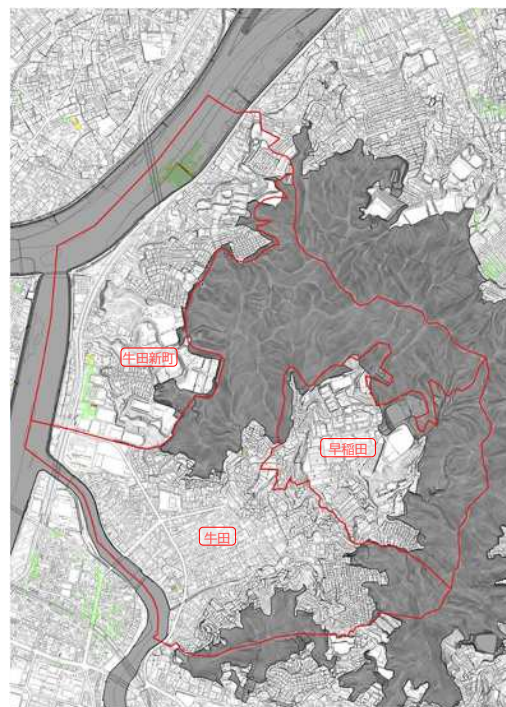
※指定緊急避難場所については、該当の小学校区のみを記載しているため、小学校区境等に居住のある方は隣接の小学校区のハザードマップもご確認ください。

●雨の降り方と浸水想定区域図

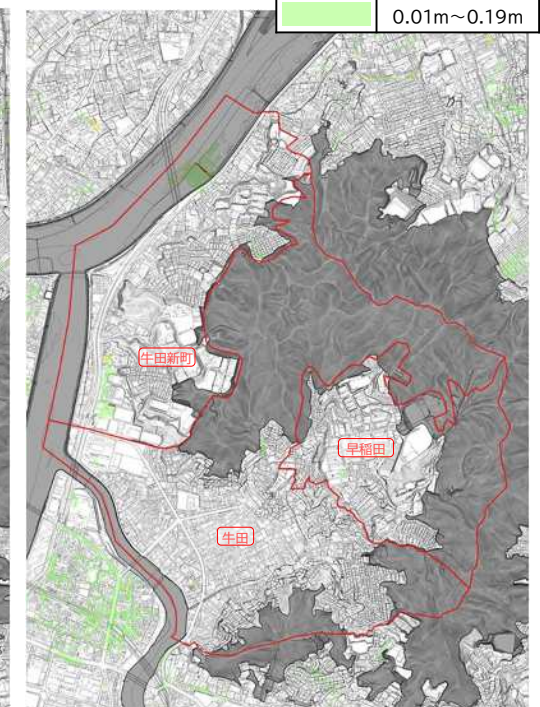
下水道施設に下記の雨が降った場合の浸水を想定したものです。(令和5年(2023年)3月末時点)

浸水の深さ	
	1.0m以上
	0.5m~0.99m
	0.2m~0.49m
	0.01m~0.19m

《1時間雨量30ミリの場合》
(一般的な大雨)



《1時間雨量46ミリの場合》
(5年に1回程度降る雨)



《1時間雨量30ミリって?》

- 予報用語
強い雨(1時間雨量20~30ミリ)
- 人の受けるイメージ
どしゃ降り



- 屋外の様子
地面一面に水たまりができる

《1時間雨量46ミリって?》

- 予報用語
激しい雨(1時間雨量30~50ミリ)
- 人の受けるイメージ
バケツをひっくり返したように降る



- 屋外の様子
道路が川のようになる

「浸水(内水)ハザードマップ」を活用することで、住んでいる場所などがどの程度浸水するおそれがあるのかを把握していただき、「いざという時」の避難行動・避難経路・避難場所などを確認し、日ごろからの水害への備えとしてください。また、避難訓練の際に活用してください。

局所的に激しい雨が降った場合には、浸水想定区域と異なる区域でも浸水が発生することがありますので、ご注意ください。